

大人のための知的好奇心マガジン

ACT4

2014
APRIL
MAY

ブック・フォー

59

愛と祝福に溢れた地上の楽園ーハワイ

Fascination of HAWAII-OAIIHU

魅惑のハワイーオアフ島

La Folle Journée de Nantes et au Japon

奇跡の音楽祭を訪ねてーナント、そして東京

「ヴィーニャ・エラスリス&サーニャ」社長、ワイン醸造家

ACT4編集長

エドワルド・チャドウィック×佐藤 真理子

2004年、ヨーロッパを代表するワイン評論家、

ソムリエ等によるブラインド試飲において

ゴールドの名だたるワイナリーを抑えて一位に輝いたのは

南米チリのワインだった。

その伝説的な「ベルリンテイasting」での勝利は、

世界各地のブラインドテイastingで

上位を奪得し続けているのが「ヴィーニャ・エラスリス」だ。

その奇跡ともいえるワインを創り上げたのは、

6代目のエドワルド・チャドウィック氏。

同氏は5つのワイナリーのオーナーであると同時に

実業界で成功してチリの近代化に貢献し、

4人もの大統領を輩出した名門家の現当主でもあり、

世界最高峰のワインはいかにして作られたのか、

チャドウィック氏のワイン哲学、その神髄を聞いた。

photograph by Yuma Nakamura



エドワルド・チャドウィック

Eduardo Chadwick

1870年創業の名門ワイナリー「ヴィーニャ・エラスリス&サーニャ」社長。1993年、23歳からワイン作りを学び、カベルネの栽培と争ばる南米チリのアコンカグア・ゲッレを拠点に、世界最高峰レベルのプレミアムワインを世に送り出している。



最新式の設備を備えたワイナリー。ブドウ畑の真ん中に立つ、エラスリスの最新生産設備をよびとる建物だ。

6代目当主のエフアルド・チャドウィック氏

Viña Errazuriz ヴィーニャ・エラスリス 奇跡のチリワイン

ニューワールドと呼ばれる新興ワイン生産地であるチリから、名だたるスーパープレミアムワインを超える純粋が生まれた。石炭の「マリーナ」・テイステイングから10年、英京でその名をガウディナーが開創された。

Text by Editorial Staff

カベルネの聖地「アコンカグア・ヴァレー」の朝焼け

「革新」が武庫

フランスやイタリアといった、長く、輝かしい歴史を持つワインからみると、チリワインは、安いけど比較的おいしい、という認識だろうか。「ニューワールド」ということで軽く見られがちなのが一般的な認識だろうか。だが真のワイン好きなら、「いやいや、チリワインをあんなにたらいけない」とと奉制してくるに違いない。古くからの生産地に比べて、生産や技術、マーケティングに伝統的な誇りがない分、革新をもっともしない強みがある。そしていまや、オールドワールドのスーパープレミアムワインを軽々と飛び越える純粋も出てきた。その代表が「ヴィーニャ・エラスリス」だ。

ワイン造りの先鞭をつける

ヴィーニャ・エラスリスは一八七〇年の創業、百五十年近い歴史を誇る名門だ。ワイナリーを創業したのは、スペインのバスク地方から移住し、銅の産出で成功を収めた、ドン・マキシミアノ・エラスリス。ワイン造りにも才があり、「世界で最も優れたカベルネを生み出す」といわれるカベルネの聖地「アコンカグ

アウヴァレー」を切り開き、ほぼ独占所有状態とした人物だ。アコンカグア・ヴァレーという聖地。

「アコンカグア・ヴァレー」は南北に長いチリの首都、サンチャゴの北、約百キロに位置する。南米最高峰の山の、そして山の名前でもある。この土地をゴルデー、ナバ、トスカーナの産地と比べてみると、いくつかの特徴がある。太陽の入射角が大きいこと、豊富な日照量があること、アコンカグア川を伝って海の影響を受けた冷たい風が吹き込むこと、毎日の平均湿度を足した積算温度が少ないこと、年間降水量が降雨の四分の一程度であることなどだ。そのため、理想的な積算温度、エレガントな酸、完熟したタンニンを持つと世界最上流のカベルネを育てることができると。

世界レベルのワインを

「ヴィーニャ・エラスリス」を率いているのは、編集長甘徳のペリに似て懐いただいただワールド・チケドック。ク氏は氏はエラスリス家出身の祖母から引き継ぎ、六代目当主となった。

ERRAZURIZ & SEÑA

ヴィーニャ・エラスリス & セーニャ

Syrah La Cumbre
[シラー・ラ・クンブレ 2011] 10,000円(税別)
シラー 100%

チリで初めてシラーを植えた名門の地から、世界トップクラスへ

Don Maximiano Founder's Reserve
[ドン・マキシミアノ・ファンダーズ・リザーヴ] 10,000円(税別)
カベルネ・ソーヴィニヨン 92.4%、シラー 6.8%
ロンダンのワインコンクールでチリワインとして初めて金賞に輝く

Vinedo Chadwick
[ヴィーニャ・チャドウィック] 30,000円(税別)
カベルネ・ソーヴィニヨン 100%

ペリントン・テイステイング・ブライヴ認定で一級特等

KAI
[カイ] 10,000円(税別)
カベルネ・ソーヴィニヨン 80%、フレンチ・ブドウ 17%、シラー 3%
NYのブライヴ認定でCPUS (NY)に認め、世界最優秀のカベルネとして名を馳す

SEÑA
[セーニャ] 11,800円(税別)
カベルネ・ソーヴィニヨン、メルロー、カベルネ・ソーヴィニヨン、フレンチ・ブドウ、ロザート、モンペリエの産地が組み合わされたプレミアムワイン
世界最優秀特等



10th ANNIVERSARY THE BERLIN TASTING 2004~2014



ナリ波地蔵大徳、パシオン・ド・ヴィニヤ

ヴィーニャ・エラスリスの妻、エラリス・エラスリス



ナリ波地蔵大徳、パシオン・ド・ヴィニヤ



Wine List
Syrah La Quadra 2001 & Kai 2000
Don Maximiano Pazos's Reserve 1989 & 2011
Seta 1929 & 2011
Vinedo Chadwick 2000

パシオン・ド・ヴィニヤのナリ波地蔵大徳、パシオン・ド・ヴィニヤ



ベルリンテイストング 10周年を祝って 2014 「ヴィーニャ・エラスリス」 「ヴィーニャ・セーニャ」晩餐会 Thursday, 8 March

グランド・ハイアット東京にて
伝説の「ベルリンテイストング2004年」から10年目にあたる今年、「ヴィーニャ・エラスリス」は「セーニャ」社は一夜限りの晩餐会を東京で開催した。その夜席されたワインは思いのワインばかり。100名近いゲストは「J.V. Wine & Marriage (ジェ・アン・シュ・ヴ) ワイン&マリッジ」の松崎亮輔シェフ監修の料理と「ヴィーニャ・エラスリス」が誇るワインを堪能した。



2004 Berlin Tasting

ベルリンテイストング

- 1位 ヴィニエド・チャドウィック 2000
Vinedo Chadwick 2000
- 2位 セーニャ 2001
Seta 2001
- 3位 ヴァニエド 2000
Château Lafite-Rothschild 2000
- 4位 マルゴ 2001
Château Margaux 2001
- 5位 セーニャ 2000
Seta 2000
- 6位 ヴィニエド・チャドウィック 2001
Vinedo Chadwick 2001

<各ワインの2000 & 2001 価格>
その日の価格(円)：
シラー・ブドウ 2000 & 2001
Ch. Lafite
ソニア 2000 & 2001
Sola
グランド・フル・マルゴ 2000 & 2001
Gusto di Tasso
サンタ・カタリナ 2000 & 2001
Sapporo
ヴィニエド 2000 & 2001
Tiziana



トップに輝いた、
ヴィニエド・チャドウィック 2000

六代目となった氏は父の死で一九八三年にワイン造りを学ば始めた。エドワルドは「ボルドー」をはじめ各国で研鑽を積んだ結果、ナリの大手ワイナリーが安値な大量生産のワイン造りに走り始めたのを尻目に、ひたすら「ミシヨンの土に認められる高品質ワイン」を目標とする。

ナリで初めて傾斜四十五度の斜面にカベネソーヴィニオンを植え、シラーの苗木をリース・ヒルミニアから取り寄せるなど、世界の市場で獲れるナリのプレミアムワイン造りにひたすら続んだ。その結果「ドン・マキシメーノ・マウラダ・ズ・リザーブ」「ヴィニエド・チャドウィック」という純酒が誕生することになる。氏は「ヴィニャ」

セーニャの男でもあるが「ヴィニャ・セーニャ」はカリフォルニアワインの父ともいえる、ロバート・モンダヴィ氏とともに始めたものだ。現在ナリとウィニャ家が経営。

伝説のベルリン・テイストング「アロワール」を尊重し、自社畑の葡萄から、洗練されたエレガントなワインを生み出すという目標を、マキシメーノ・エラスリスの哲学は代々継承されているが、その真摯な哲学と優秀なワインは世に知られてはなかった。それが覆ったのが二〇〇四年だ。二〇〇四年一月、リック・カールトン・ベルリンで行われた世紀のブライランド・テイストイ

ング・ベルリンテイストングで世界を驚かせたのだ。

この日はヨーロッパを代表するジャーナリスト、トランプリより三十六名が会して、誰かがマルゴ、カトリール、ラファイア等の勝利を確信していたが、その予想を裏切らせて見事ナリ・ワインに輝いたのは、「エラスリス・ヴィニエド・チャドウィック 2000」だった。ベスト・ワイン・オブ・ザ・イヤー 2000 ともいえる快挙。それはナリ・ワインが世界のブレイク・ポイントに達していることを証明した出来事だった。その後、ロバート・バーカーによる傑作「バーカー・ポイント」も九十七歳、九十六歳とボルドー五大コートよりも高得点を獲得し、快進撃を続けている。